



イノベーションを情報で支援する会社。

axetimes & Partners

報道関係者各位
プレスリリース

2026 年 8 月 21 日
アックスタイムズ株式会社

フィジカル AI 開発、米国・欧州・日本・中国等の 709 事例を調査

事業化比率では米国・欧州・中国、リスクを取るスタートアップ比率では米国・中国が高水準

情報ナレッジサービスを展開する市場調査会社のアックスタイムズ株式会社（所在地：大阪府大阪市中央区、代表取締役：橋本規宏）は、フィジカル AI 領域における開発事例をグローバルに調査・整理した事例集「フィジカル AI の技術・市場・政策&グローバル事例調査 2026 年版 [Excel データセット | グローバル事例リスティング | 709 事例]」を、2026 年 7 月 21 日にリリースしました。

なお、本調査 Excel データセットは、AI に読み込ませて活用することで、独自の視点からフィジカル AI 市場を分析することができます。本プレスリリースでは、AI を活用し、本調査 Excel データセットをもとに米国・欧州・日本・中国の企業動向を新たに分析・整理しましたので、後述の「調査結果」にてその分析結果を紹介します。



〔調査報告書の構成〕（フィジカル AI シリーズ 2026）

フィジカル AI の技術・市場・政策&グローバル事例調査 2026 年版

- No.1 総括・政策・基盤編 | No.1+No.2 の個別市場の集計・分析を含む全体調査結果を収録

<https://prtimes.jp/main/html/rd/p/000000035.000101197.html>

- No.2 ハードウェア編 | 個別技術ごとの市場規模・シェア、課題、用途等を調査

<https://prtimes.jp/main/html/rd/p/000000036.000101197.html>

- Excel データセット | グローバル事例リスティング | 709 事例

<https://info.axetimes.com/hubfs/publicity/20260821-physical-ai-03-global.pdf>

本調査 Excel データセットでは、フィジカル AI 領域におけるグローバル 709 事例を調査・整理しており、企業探索や技術探索、技術トレンド分析、業界動向の体系的な把握に適しています。

技術戦略・事業戦略・アライアンス戦略の立案、新規事業開発の市場環境把握等にご活用ください。

■ 調査結果（本調査 Excel データセット 709 事例×AI による分析結果抜粋）

【フィジカル AI：米国・欧州・日本・中国の事業化比率とスタートアップ比率】

事業化比率では米国・欧州・中国、リスクを取るスタートアップ比率では米国・中国が高水準

地域 本調査での対象事例数	事業化比率	スタートアップ比率	フィジカル AI 開発特徴
米国 223 事例	68.6%	65.9%	AI 基盤主導型
欧州 126 事例	68.3%	50.0%	用途・産業課題対応型
日本 203 事例	34.5%	43.3%	既存産業・現場実装型
中国 95 事例	81.1%	66.3%	ハードウェア・事業化主導型
本調査対象全体 グローバル 709 事例※	61.2%	57.4%	-

※掲載 4 地域以外の 62 事例を含む

【注記】事業化比率：ステージ区分が「事業」に該当する事例数 ÷ 本調査での対象事例数

スタートアップ比率：組織区分が「スタートアップ」に該当する事例数 ÷ 本調査での対象事例数

(ステージ区分) 事業＝商用段階 | 開発＝基礎研究から事業化に向けた開発段階

(組織区分) ビッグテック | スタートアップ | 企業（ビッグテックおよびスタートアップ以外の企業） | 大学 | 研究機関

【フィジカル AI：米国・欧州・日本・中国の開発特徴】

（米国 | AI 基盤主導型）

AI モデル、データ基盤、計算基盤、開発基盤など、フィジカル AI の頭脳や開発環境を担う技術開発が幅広く確認されました。ヒューマノイドロボットや FA ロボットに加え、物流、医療、農業、建設、防衛など、多様な用途に向けたロボット・自律システムの開発が進められています。

組織区分としては、スタートアップ、企業、大学など、幅広い主体が開発に関わっています。ビッグテックによる取り組みもみられ、AI モデルや計算基盤、開発基盤など、フィジカル AI の基盤領域を中心とした技術開発がみられます。

AI 基盤の技術力を起点として、ロボットや自律システムなどのハードウェアへ展開していく「AI 基盤主導型」の開発が特徴と考えられます。

（欧州 | 用途・産業課題対応型）

ヒューマノイドロボットだけでなく、手術・医療ロボット、農業機械、建設機械、インフラ点検ロボット、水中ドローンなど、特定の業界や用途を対象とした開発が幅広く確認されました。既存機械の自律化や、実際の利用環境に合わせたロボット・自律システムの開発もみられます。

汎用的な技術開発に加えて、医療、農業、建設、インフラなど、それぞれの産業が抱える課題や利用環境に対応する「用途・産業課題対応型」の開発が特徴と考えられます。

（日本 | 既存産業・現場実装型）

ヒューマノイドロボット、FA ロボット、搬送ロボット、建設機械、ドローン、自動車など、製造、物流、建設、インフラ、モビリティと関係の深い技術開発が確認されました。AI モデルや開発基盤、センサー・センシング関連の技術開発も行われており、既存の機械・設備と AI や自律制御技術を組み合わせる取り組みがみられます。また、実際の現場を想定した開発・実証も推進されています。

製造業をはじめとする既存の産業基盤やハードウェア技術を生かしながら、AI・自律制御を実装して現場導入につなげていく「既存産業・現場実装型」の開発が特徴と考えられます。

(中国 | ハードウェア・事業化主導型)

ヒューマノイドロボット、自動運転、四足歩行ロボット、搬送ロボット、建設機械など、幅広いハードウェア分野で開発・事業展開が確認されました。特にヒューマノイドロボットをはじめとする新しいロボット分野の取り組みが目立ちます。また、AI モデルや計算基盤など、ハードウェアを支えるフィジカル AI 基盤の開発も行われています。ビッグテックも、AI モデルや通信基盤に加え、ヒューマノイドロボットや自動運転などの応用領域に取り組んでおり、基盤技術から具体的な製品・サービスまで幅広い展開が確認されます。

AI・制御技術とロボットなどのハードウェアを一体的に開発し、製品化・事業展開につなげていく「ハードウェア・事業化主導型」の開発が特徴と考えられます。

■ 調査項目

調査対象事例数：709 事例（事例ごとの共通調査項目は以下の通り）

- | | | |
|---------|----------|----------|
| ・企業等の名称 | ・ステージ | ・業界分類 |
| ・組織区分 | ・事業化予定時期 | ・技術キーワード |
| ・本社所在 | ・技術概要 | ・公式 URL |
| ・設立年 | ・技術分類 | |

■ 調査概要

調査目的 | フィジカル AI の開発・事業事例を体系的に理解することによる情報支援
調査対象 | フィジカル AI の 709 事例（開発・事業）
調査範囲 | 世界、日本
調査方法 | 業界インタビューおよび公開情報調査をベースに専門市場調査員が整理・分析
調査期間 | 2026 年 4 月～2026 年 7 月
調査実施 | アックスタイムズ株式会社

■ 商品概要

調査報告書名：フィジカル AI の技術・市場・政策&グローバル事例調査 2026 年版

[Excel データセット | グローバル事例リスティング | 709 事例]

発行日 : 2026 年 7 月 21 日

体裁 : Excel データセット

価格 : 詳しくは商品サイトまたは内容案内をご確認ください※

※Excel データセット単体での販売はございません

フィジカル AI シリーズ No.1 または No.2 の組み合わせでご購入いただけます

商品サイト : <https://axetimes.com/report/research-about-physical-ai-technology-and-market-global-2026/>

内容案内 : <https://info.axetimes.com/hubfs/profile/2026-physical-ai-global.pdf>

【FAQ：あなたの AI に業界知見・専門知識を追加】

本調査報告書は Excel 形式で提供しています。ご購入いただいたライセンスの種類やご利用の AI 環境によっては、調査報告書を AI に読み込ませ、情報収集や社内活用をより効率化できます。

例えば、調査報告書を AI に読み込ませることで、以下のような活用が可能です。

- ・調査レポート情報を活用した社内ドキュメント作成
- ・調査レポートを読み込んだ専門家（AI）と事業相談
- ・分かりやすい音声解説で社内に情報共有 など

AI での利用可否や対象となる環境・設定、ライセンスの種類などについては、「「調査報告書×AI 活用」に関するガイドライン」をご確認ください。

ガイドライン：https://info.axetimes.com/hubfs/support/CS_AI-guideline.pdf

【FAQ：購入検討サポート】（無料）

本調査報告書のご購入をご検討いただくにあたり、コンサルタントとのオンライン面談にて内容をご確認いただけます。ご希望の場合、下記フォームよりお問い合わせください。

サポートに相談する：<https://forms.cloud.microsoft/r/5sy9AVhmxn>（Microsoft Forms）

■カスタム調査相談のご案内（市場調査代行）

アックスタイムズでは、調査結果の知見を生かし、事業企画・研究開発を情報面から支援する「市場調査代行」のご相談も可能です。ご希望の場合、下記フォームよりお問い合わせください。

カスタム調査のご相談方法など：<https://axetimes.com/note/about-axetimes-research/>

専門家に相談する：<https://forms.cloud.microsoft/r/E9PJpWNJ5m>（Microsoft Forms）

■会社概要

商号：アックスタイムズ株式会社

代表者：代表取締役 橋本 規宏

所在地：〒541-0053

大阪府大阪市中央区本町 4 丁目 2 番 12 号 野村不動産御堂筋本町ビル 8 階

設立：2021 年 4 月 26 日

事業内容：調査レポート販売、市場調査代行、伴走型情報支援サービス、
市場調査研修、情報ナレッジサービス、Web メディア

公式 WEB：<https://axetimes.com>

【本件に関するお問い合わせ先】

アックスタイムズ株式会社

TEL：050-3555-6200

お問い合わせフォーム：<https://axetimes.com/contact-form/>